

第97号

進路特集



発行 学校法人 藤枝学園
藤枝明誠中学校・高等学校
渉外課広報担当
TEL (054) 635-8155
FAX (054) 635-8494
【URL】 <https://www.fgmeisei.ed.jp>
【Email】 meisei@fgmeisei.ed.jp

東京大・北海道大・東北大・九州大・ 福島県立医科大など難関大突破!!

令和元年度大学合格状況



国公立2名
早慶7名
GMARCH東理31名
関関同立31名

早稲田 慶応 上智 明治 青丘 立教 中央 法政 東洋経済 関西 関西学院 同志社 立命館

受験は団体戦
友人たちから刺激を受けた

中学3年の時に多くの高校を見学し、その時に藤枝明誠の「受験は団体戦」に一番興味をひかれ受験を決めました。高校入学後、周りのレベルの高い生徒たちに刺激を受け、すぐに受験勉強を開始し、高2の秋ごろには受験範囲を終わらせ、その後、受験までに赤本を50冊以上こなしました。高校からも手厚いサポートを受け、私の成績は徐々に上昇していき、ただ、何度か勉強をやめたいと思いました。特に藤枝駅前にイルミネーションが輝く時期は辛かったです。楽しそうに写真を撮影している人や酔っぱらっている人の間を縫うように避けて帰りました。しかし、元日ですら受験生のために朝から校舎を開放し、講義までしてくださった先生方のおかげでモチベーションを下げずにセンター試験を終え、主要科目(英数理)では94%以上の正解率でした。しかし、本当の試験はここから始まりました。センター試験の翌々

私の合格体験記

310HR 富田 航大
(西益津中出身)

福島県立医科大学
医学部に進学



次試験は突破し、後日2次試験の面接を受けました。面接官6人による60分間の多方面で、且つ踏

次試験は突破し、後日2次試験の面接を受けました。面接官6人による60分間の多方面で、且つ踏

全力で受験に取り組み、多くの実績残す

主な合格私立大学

早稲田 3 名	慶応義塾 3 名	上 智 5 名
明 治 5 名	青山学院 2 名	立 教 4 名
中 央 8 名	法 政 6 名	東京理科 4 名
学習院 2 名	国際基督教 1 名	国際医療 福祉大(医) 1 名
関 西 1 名	関西学院 6 名	同志社 3 名
立命館 21 名	獨 協 1 名	文 教 1 名
日本医療 科学 1 名	神田外語 2 名	亜細亜 1 名
大妻女子 1 名	北 里 1 名	工学院 3 名
國學院 2 名	国土館 3 名	駒 澤 4 名
芝浦工業 1 名	順天堂 4 名	昭 和 2 名
成 蹊 1 名	専 修 10 名	大東文化 9 名
拓 殖 3 名	玉 川 5 名	津田塾 1 名
帝 京 12 名	東 海 9 名	東京女子 2 名
東京電機 3 名	東京農業 14 名	東 邦 2 名
東 洋 13 名	日 本 20 名	武 蔵 1 名
明治学院 7 名	神奈川 11 名	関東学院 2 名
静岡産業 13 名	静岡理工科 7 名	聖隷クリ ストファー 5 名
常 葉 104 名	愛 知 5 名	愛知学院 13 名
金城学院 1 名	中 京 6 名	中 部 5 名
名古屋 外国語 8 名	南 山 5 名	藤田医科 1 名
名 城 5 名	鈴鹿医療 科学 1 名	京都外国語 3 名
京都産業 5 名	龍 谷 8 名	近 畿 13 名

その他多数(私立大学合計585名)

令和元年度大学合格状況
明誠ならではこの丁寧な指導が合格実績を生み出す

国公立大学合格状況

東 京 1 名	北 海 道 1 名
東 北 1 名	九 州 1 名
福島県立 医科(医) 1 名	静 岡 15 名
静岡県立大 10 名	帯広畜産 1 名
北見工業 2 名	弘 前 1 名
茨 城 3 名	千 葉 1 名
東京海洋 1 名	東京学芸大 1 名
富 山 1 名	山 梨 1 名
和 歌 山 1 名	鳥 取 1 名
高 知 1 名	熊 本 1 名
釧路公立 1 名	青森県立保健 1 名
国際教養 1 名	茨城県立医療 1 名
埼玉県立 1 名	千葉県立 保健医療 1 名
横浜市立 1 名	石川県立 1 名
公立小松 1 名	福井県立 1 名
都留文科 2 名	山梨県立 1 名
岐阜薬科 1 名	名古屋市立 1 名
京都府立 1 名	大阪市立 1 名
兵庫県立 1 名	島根県立 2 名
福山市立 1 名	下関市立 2 名
長崎県立 1 名	宮崎公立 1 名
名 桜 1 名	(国公立大学合計72名)

文科省管轄外合格状況

防衛大学校 1 名

受験は団体戦、学校を 利用し仲間と目標突破

安全志向に流されず明誠スタイルを貫け

明誠ダイアリーで自己管理能力を高めよう

進路課長 本杉敬典

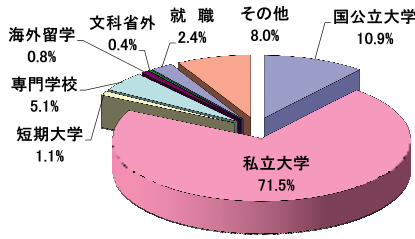


52万7千人が受験した、最後となる2020年度大学入試センター試験では、英数国の主要3教科の平均点が全てダウンし、結果、7科目文系型の平均点が54.7点（前年マイナス22点）、7科目理系型の平均点が55.2点（前年マイナス19点）となった。勿論18歳人口減による大学志願者数の減少という要因もあるが、この平均点ダウンとここ数年の安全志向の高まりから、国公立大学入試の前期日程の志願者は、24万3千人と過去最少となり、後期日程は更に前年より1万4千人少ない16万5千人で前年比の92%と前期日程以上の減少幅となった。また私大の一般入試も前年比95%と志願者が減少した。これは前述のとおり大学志願者数自体の減少もあるが、近年の私大入試の難化（入学定員管理の厳格化による合格者の絞り込み）による安全志向の高まりから、AO・推薦入試で早期に進学先を決めた受験生が例年以上に多かったことの表れだろう。国公立立いずれも安全志向が高まったのは、次年度からの入試改革が影響したの言うまでもない。

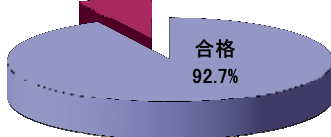
前述のような状況の中、35期生の先輩方は右表のような充実した成果を収めることができた。その最大の要因は、学年主任の津川先生を中心とする学年団の先生方の指導のもと、安全志向に流されず挑戦し、最後まで諦めない姿勢を貫いたことにはかならない。

が明誠ダイアリーだ。明誠ダイアリーで自己の活動を「見える化」した者が、PDC Aサイクルを身に付け、目標達成を実現できるのだ（特に休日の起床時間と学習開始時間が、平日と同じリズムの生徒たちが合格を勝ち得た）。

令和元年度 進路状況



令和元年度 4年制大学合格率



部活の効用



河合 頼芽
310 HR（浜岡中出身）
九州大学へ進学

今年の受験生の中で私ほど上手く部活と勉強を両立させたものはいないと思うので、この事について自分なりに書いてみたいと思う。一般に部活と勉強は相反するもので、この2つのバランスを取ることを目標とする人が多いが、私はむしろこの2つは互いに支え合い、補強し合う関係にあるのではないかと思う。例えば私の場合、部活において上手くいった練習方法や考え方を勉強にも応用することで勉強の質のさがる向上をなすことができたし、その逆もまた然りである。

また自分は勉強効率の向上のために、あえて部活の練習時間を自主練習を行うことによって増やしてみた。これは一見勉強にはマイナスであるように見えるが、実際はその逆で少ない時間で上手に勉強する方法を考えることにつながったし、スキマ時間の活用や勉強の計画及び無駄を省くことなど、かなり勉強方法がとぎすまされた。また、部活のほうも時間を増やした分、上達が早かった。このように部活と勉強が相乗効果をもたらす段階に至るとどちらもどんどん上達していける。した



国公立大学前期合格発表が終了した時点で、合格者は41名。この結果は厳しいものだった。34期生と比較すると生徒数で100名近く増えているのに、このままでは昨年の実績を上回るどころか届かないかもしれないと感じた。進路課長の本杉先生は「まだ、後期があります。例年10名以上の合格者が出ています、それに賭けましょう。」そう言うてくださったが、その視線はずっと遠くにあり、見えない何かに根拠を求めているように見えた。

生き様として明誠生の戦い方

前学年主任 津川 浩人

でも35期生は粘った。後期や前期試験追加で19名の合格者を出し、現役だけで合計60名で伸ばした。静岡大学、静岡県立大学にそれぞれ10名ずつの合格者も良い結果だと

含まれている。カリキュラムを見れば分かる。どのコースからも国公立を目指すことのできるレベルで授業が行われている。そして安易に3教科に絞って学習することはで

最後までバランスの良い学力と人間形成に取り組んできたんだという証として国公立チャレンジがある。かつこつでなく、行けたらいいやじゃなく、記念受験でなく、親や先

が問われるので、より

生に言われたからじゃなく自分の3年間の生き様として、その証として最後まで粘り続ける。そういう魂であったからこそ成果である。

在校生諸君、コロナ厄災が君達の進学にどういう変化をもたらすかは分からない。でも明誠生の戦い方は変わらない。「あいつが頑張っているんだから僕もやる」「あの子がいかに頑張っているんだから私もやせ我慢する」そういう変化を1個1個愚直に負荷を乗り越えて成長していくのが明誠のスピリッツであり、本杉進路課長のいう「（明誠の）受験は団体戦だ」の意味である。

本年度より始まる新入試への取り組み方については、3年生・2年生は、『進路室だより・71号』の「高大接続改革について」をもう一度読んでほしい（1年生には進路ガイダンス等で伝達したい）。特に共通テストは問題文の情報が多く、知識そのものを問うよりも、知識をいかに使えるかが問われるので、より

面接には事前の準備が重要



小林 涼
(吉田中出身)
静岡大学へ進学

私はセンター試験を課す推薦入試を受験しました。静岡大学理学部創造理学コースでは、応募する際に志望書を書いて面接、口頭試験を行います。私はセンター試験が終わってから推薦の準備を始めました。周りの人たちの協力のおかげで何とか間に合わせる事ができました。志望書を書く際には周りの人のアドバイスをもらいながら書きました。特に大学入学後に何をしたいかを具体的に書いた方がいいと思います。私は化学、英語を学びたいというのを書きました。面接対策としては典型的な質問や過去の試験で聞かれた質問の内容をノートなどにまとめ、先生に試験官をしていただき、答えられるようにしました。

口頭試験の対策としては公式を暗記するのではなく、どうしてそうなるのかという原理を、教科書を読みこんで理解するようにしました。

しかし、今年の試験は前年までとはかなり変化しており、面接と口頭試験の合計30分だったのが、それぞれ10分ずつになっています。また、口頭試験は5科目のうち2科目選択から1科目になった

選んだ道を貫くことが重要



榎本望未
(大洲中出身)
帯広畜産大学へ進学

私が受験を意識し始めたのは2年生になってからでした。最初は獣医学部のある北海道の大学に行こうと考えていて、帯広畜産大学のオープンキャンパスに参加しました。その時が初めての北海道で、食べ物が美味しくて自然を感じられる土地に一目惚れしました。今思えば、これがずっと私を支えたモチベーションでした。そして帯広畜産大学も広大で北海道の土地を生かして学ぶことができると、ここが私の志望校になりました。目標ができたあとは勉強するのみでした。私は7時30分まで学校に残って勉強するようにしていました。しかし模試の結果はE判定ばかりで獣医になることについて再びよく考えました。諦めるのはまだ早いか、ただ辛いことから逃げているだけではないか。結局、頑張り切れないだろうと思い、同大学の獣医から畜産科へと志望を変えました。そして3年生となり、本格的に受験へと意識を切り替えました。高校生活の最後の1年という寂しさを時々感じつつ、常に受験勉強をする日々でした。9時まで学習に参加して、ほぼ1日中勉強しかしておらず、今までの

目標を具体化し、確実に達成する



山本航大
(大富中出身)
早稲田大学へ進学

私が早稲田大学教育学部英語英文学科を目標に設定したのは高校1年生の夏休みである。中学生の頃から教員という職業に強い憧れを持っていたため、教育学部に進学しようと考えた。そこで教員養成課程のある大学を調べ、1番ハイレベルな環境で学べそうだと感じたため、早稲田大学を志望校に設定した。早稲田志望校を設定したが、1、2年生のうちは早稲田大学を見据えた学習というよりは授業で習ったことを確実に覚えて、基礎を徹底的に身につけることであつた。定期テストと模擬試験に臨むときにはなるべく具体的に実現不可能でない目標を立て、目に見える結果から達成感を得て、モチベーション向上につなげた。

3年生になると、より長期の目標と短期の目標をそれぞれ立てて学習に取り組んだ。私は全教科バランスよく学習できるほど器用ではないので、時期ごとに重点を置く教科を決めて勉強した。4月から7月は主に英語に取り組んだ。英文法には自信があつたが、単語の知識が薄く、読解に苦

自分の意見を持ち、面接に対応



辻 綾乃
(相良中出身)
山梨県立大学へ進学

私が合格できた1番の要因は、大学で学びたいことや理想像をしっかりと持つことができたことではないかと思っている。看護学部は2次試験に面接を課すところが多い。つまり大学側は、面接を通して看護師に向いているかどうか見極めるのだ。だから私は、2次対策を始める前に自分はどうな看護師になりたいのか、どんな看護師が必要とされているのかを考えた。そして自分の意見を持つことで、どんな質問に対しても、落ち着いて答えられるようにした。私が最も苦労したのが日本史である。12月、1月は学習時間の多くを日本史に費やした。教科書を何度も読んで通史学習をしながら一問一答の問題集を解きアウトプット学習に多く取り組んだ。その結果、センター試験の得点が半年で63点から88点に上がった。

私が受験期に最も大切にしたことは1か月先の目標を具体的に立て、確実に達成していくことである。これを続けければ、第1志望合格という最終目標に手が届くほどの学力が身に付くだろう。

模試を効果的に使い成績向上



松下 楓
(島田北中出身)
兵庫県立大学へ進学

私は兵庫県立大学国際商経学部の公募制入試を受験し、合格することができました。私は今回の受験に関することで良かった点、反省すべき点がいっぱいありました。まず良かった点の1つ目として、私は一般入試でも国公立大学を受験しようと考えていたので、公募制入試と並行して一般入試の勉強を進めることができた点です。模試などを目安として目標を立て、そこまで自分が伸ばしたい部分や苦手な箇所を集中的に勉強し、模試で自分の足りない部分を見つけて改善していくことを繰り返していました。それによりしっかりと基礎が固まり、苦手な箇所の改善だけでなく得意科目の英語をより伸ばすことができました。

もう1つは公募制入試の内容である小論文と面接の対策を、時間をかけてしっかりと行ったことです。小論文は過去の試験を参考にして問題の傾向をつかみ、筋が通っていてわかりやすい、明快な小論文を書くようになるために、先生に添削をしてもらうなど、小論文という型に慣れる努力をしました。また小論文の一部に英文の要約があ



2次力と諦めない気持ちが鍵



小林聖也
(青島中出身)
千葉大学へ進学

私が受かった理由は2次力と最後まで諦めなかったことにあります。

1つ目の2次力について話します。担任に「2次力」「2次力」と耳にタコができるほど言われていたせいか、11月の後半までは2次力をつける勉強をしてきました。そのお蔭でセンター試験は失敗してしまっただけで、2次試験で挽回することができました。そのため、2次力はぜひつけておいた方がよいと思います。私は1年の頃、英語の学習では単語だけ覚えていました。そして2年になって文法を勉強して長文読解へ、という勉強をしていました。数学はチャート式の基本問題を覚えるまで解いてから応用問題へ進むといいと思います。入試の数学は難しいですが、分解してみると基本問題の融合ということが多いのです。物理は苦手だったので何も言いませんが、暗記ではなく原理を理解することが重要です。化学は暗記と理解の教科ですが、何となくでも重要なものは有機化学です。この分野は自分で先取りして勉強することが重要です。有機化学はやれば得点源となります。地理は1枚の白地図に情報を書き込む

とがおすすめです。地理は40点くらい点数を伸ばすことができました。

2つ目の諦めないことについて話します。私は本当にセンター試験で失敗しました。物理・化学・数Ⅱなどは理系の受験生が取る点数ではないような点数を取ってしまいました。しかし逆転合格できた要因はあきらめずに最後まで頑張れたことです。あのセンター試験の点数でよく挫けずに最後まで頑張れたと自分を褒めたいくらいです。先ほどの話と矛盾しますが、いくら2次力といってもセンター試験を軽視してはいけません。

ほかにも合格要因があるので紹介します。傾向と対策は本当に重要です。各大学はその大学特有の癖がある問題を出してきます。最終的にはその問題を解かなくてはならないので、早めに志望校の過去問題を解くべきです。初めのうちは解けないと思いますが、だんだんと思えるようになります。また、周りの環境も重要です。特に友達の影響力は大きいので、一緒に頑張る友人がいるといいです。そして学校を頼りつつも、最後に勉強するのは自分という意識を持つことが重要です。

自分に合う勉強の仕方を



鈴木彩奈
(六合中出身)
津田塾大学へ進学

第1志望合格に向けて英検準1級が最低ラインだとわかり、最初は単語ばかり覚えていた。しかし、なかなか点が伸びず、どうしたらよいか自分なりに考えた。読解ができたので時間を少なめにしないで時間を使うようにして、点を取りやすい理科と世界史は時間を長めにとつて、頑張っても点が伸びない数学を補った。目標の合計点にむけてどうやって点を取るのか、戦略を立てることが大事だと思った。

また、いつまでに何をやるのかわかっておくために1週間ごとに大まかな予定を立て、前日に次の日の細かい予定を立てた。これはやる気も出るいいな、と思ったが、1日にたくさんつめてしまったのでうまく消化しきれなかった。自分のできる量を把握して1日休息日を設けたらよかったかもしれない。

過去問の研究も重要だ。大学によって出題形式や出やすい話題があるのでそれを知ることが第1歩。それに合う勉強の仕方を先生と相談しながら自分で考えていくことが大事。第1志望への強い気持ちがあれば、直前期は特に時間の使い方を意識した。でき

気持ちで合格を掴み取る



大塚萌香
(初倉中出身)
静岡大学へ進学

私は高校1年の頃、それなりに勉強をしている気になっていました。しかし今の私からみると、その日々は全然勉強時間が足りていなかったと思います。

高校2年の時「本気で入りたい」と思える場所を見つけました。私はその時から勉強への姿勢が明らかに変わりました。放課後や土曜日の午後、学校に残って勉強するようになり、家での勉強時間も増えました。しかしなかなか模試で点が取れず、机から逃げたい気持ちになることがありました。そういう時に、大学のパンフレットを見ても一度勉強意欲を高め直したり、オープンキャンパスに行った日に書いた日記を読み返したりしました。また、友達と励まし合うこともよくありました。そして高校3年になり初めての模試で私の志望校の判定はEでした。それから夏の時点でもE。私は何をしていたのだらうと思ってしまう。そして9時まで学習も始まって私としては確実に知識を増やしている自信があったのに、点につながらな

学校を最大限に利用



古谷瑠蘭
(島田第二中出身)
県大薬学へ進学

私は塾や予備校に通っていないため、学校を最大限に利用させていただきました。家では集

中できないため、放課後や土曜授業のあとには学校にできるだけ残って自習をし、学校が休みの日には地元の公民館で勉強しました。「9時まで学習」が始まると、教室の静かな環境でまわりのクラスメイトが真剣に勉強しているのを見て、自分も頑張ろうという気持ちになりました。クラスの友達や皆、志が高くモチベーションもあがり、友達は皆、志が高くて長すことができたと思います。大晦日もお正月も毎日学校に行き、センター対策をしていました。過去問を毎日解き、日に良い点が取れるようになっていくのが、さらにやる気へとつながりました。それに、毎日、1日中学校にいるのは全然苦痛ではなく、むしろ楽しかったです。

私は、推薦と前期で落ちました。メンタルは限られたので、第1志望に合格することはできませんでしたが、気持ちを切り替えて第2志望を受験しました。が、正直手応えがなかったのに、合格したときにはとても驚いたし、うれしかったです。

担任の先生には2年間お世話になりました。ほぼ毎日朝礼や終礼でかなり厳しく喝を入れていただき、そのお蔭で常に緊張感をもっていたような気がします。センター試験や国公立大学の2次試験が近くなると休日でも学校に来てくださって私たちが勉強できる環境を整えてくださいました。本当にありがとうございました。

また、9時まで学習の迎えなど生活面でサポートし、3年間私立高校に通わせてくれた家族にも感謝しています。

受験に関して私からいえることは、志望校は早いうちからいくつか候補を挙げておいた方がよいということです。私は第1、2志望校はかなり早いうちから決めていたのですが、今思えばマイペースな私には厳しいくらいがよかったのかもしれない。私には厳しかったが、今思えばマイペースな私には厳しかったが、よかったのかもしれない。

私はセンター試験で思うように点数が取れなかったため、第1志望に合格することはできませんでしたが、気持ちを切り替えて第2志望を受験しました。が、正直手応えがなかったのに、合格したときにはとても驚いたし、うれしかったです。

「勉強嫌いのサイクル」を脱却



片岡洋哉
(明誠中出身)
京都府立大学へ進学

私は中学と高校の6年間を通して明誠にお世話になりました。学校・クラス・図書室・塾の自習室を利用していました。私は受験で良い結果を出すために一番大切なことは「勉強の楽しさを知ること」だと考えています。これはありふれたフレーズですが、勉強が嫌いな人にとっては「意味がわからない」と感じるでしょう。その理由として「勉強をしない」↓「テストの点が悪い」↓「勉強が嫌い」↓「勉強をしない」・・・というサイクルが関係していると思います。実際に私も勉強が好きではなかったし、勉強から逃げていました。そこで前に述べたサイクルから脱却するために次のことをしました。

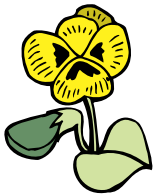
まず、勉強を毎日続ける習慣をつけるために、自分に合った問題集に取り組むこと、自分の性格を理解して集中して勉強できる場所を見つけることにしました。問題集については難しすぎず、簡単すぎない問題に取り組むことで、わからない問題がわかるという喜びと学習意欲が湧き、学ばう楽しさを味わうことが出来ました。また、学習場所に関しては、私は家で一人では勉強に集中

できないタイプだと自覚していたため、学校・クラス・図書室・塾の自習室を利用していました。勉強と一緒にする人がいると自分も頑張らなければいけないという気持ちになり、集中力も増えました。

次に、テストでいい点を取るためにテストを分析しました。定期テストは出題範囲が狭いので点数を取りやすいですが、「模試・入試には出題傾向が存在します。そこで出題傾向を理解し、そこを集中的に勉強すること効率よく点数をとることができるようになります。勉強が楽しくなっていました。

以上の事に取り組む、「嫌いのサイクル」を脱却し、テストで点数を取れるようになり、勉強が楽しくなっていました。

最後にここで書いた勉強法は全ての人に当てはまるものではないですが、わずかも当てはまる人がいて、勉強の楽しさを知ってくれたら嬉しいです。頑張ってください。





高校38期343名・中学18期71名が仲間入り

令和2年度入学式

積極的に挑戦 する学校生活



19HR (青島中出身)
北口 涼介

勉強と部活の 両立を目指す



J11HR (黒石小出身)
中村 悠人

私は3つ上の兄の勧めでこの明誠高校の英数科に入学を決めました。兄から規則はとても厳しいが、高い学歴を持った素晴らしい先生が多いというも聞いて、私もそのような恵まれた環境で勉強したいと思いました。

私にはまだ具体的な将来像がありません。目標がないと、これからの勉強についていけないと思うので、高校3年間で勉強だけでなく、部活や友達と遊ぶこと、興味を持ったことに積極的にチャレンジして、早めに将来の夢を見つけたいです。そして充実した学校生活を送っていきます。

僕は明誠に入ってから、学習と部活をがんばってみたい。学習では、しっかりとした学力を身につけるため、集中して授業に取り組む、分からないところがあれば先生に聞き、家でちゃんと復習してきたいです。

部活の射撃同好会では、普段の生活で使ったことのない銃というものにチャレンジして、自ら練習したり、先輩から助言をもらったりして、うまくなっていきたいです。

明誠で学習と部活をがんばって、いろいろなことにチャレンジできるような人になりたいです。

生徒会 会長
310 HR (大井川中出身)
松井 優樹

私たち生徒会は、生徒による生徒のための学校づくりを目標に活動しています。昨年度の青藍祭・球技大会・体育大会は多くの生徒の思い出に残るものになったと思います。しかし、生徒会内で情報伝達がいまわらなかつたり、取りかかりが遅かつたりと課題が残りました。

また現在、新型コロナウイルスの流行により学校生活も大きな影響を受けています。

昨年度や今までは違う年になりますが、生徒全員で行事を成功させていくために、私たち生徒会は全力を尽くしていきます。

バスケットボール部 部長
32 HR (浜松開誠館中出身)
石橋 永遠

前年度はウインターカップ県予選で優勝し、ウインターカップ本線では2回戦敗退という結果でした。会場の雰囲気など初めての体験で来年も必ずここで戦いたいを思いました。

新チームとなり県大会と東海大会が行われまして。県大会準優勝、東海大会では2回戦敗退という不甲斐ない結果になってしまいました。練習が全く足りず、力不足だった。

去年度や今までは違う年になりますが、生徒全員で行事を成功させていくために、私たち生徒会は全力を尽くしていきます。

また現在、新型コロナウイルスの流行により学校生活も大きな影響を受けています。

部活・同好会集 特

わたしたちの熱い想い...

各部活・同好会の抱負。目標を
本号・次号の2回に分けて掲載します

Vol.1

でいてませんでした。相手チームに点差を縮められ、なかなか追いつけなかつたりした時に、声を出してお互いに鼓舞し合い、チーム全体の雰囲気盛り上げることができました。

次に、戦略通りにプレーすることができていませんでした。試合中、焦っている時だからこそ、戦略の確認をして、次のプレーに切り替えることが必要だと感じました。

これからの私たちの目標は努力を怠らず、一人ひとりがコミュニケーションを取り合い、チーム力を

することを目標とし、それを達成するため、部員全員が主体的に活動に参加し、強固なチームを作っていきます。

女子テニス部 部長
310 HR (和歌山古座中出身)
秋山 ひより

女子テニス部は新人戦で県大会出場という成果を上げることができました。しかし、より上の舞台に立つためには技術面はもちろん、精神力を高める必要があります。そのため、今年度は一人ひとりが声出しやアドバイスをし、部としての団

吹奏楽部 部長
38 HR (六甲中出身)
木下 美羽

みなさんごきげよう、吹奏楽部です。私たちは昨年の夏に行われたコンクール中部大会において銀賞という成績をおさめました。そこから数々の行事に出演させていただ

た。今年度は技術面の向上は勿論ですが、それ以前に部としての団結力を高めていきたいと思っています。そして一人ひとりの目標には全員で協力して達成していきます。

吹奏楽部 部長
38 HR (六甲中出身)
木下 美羽

みなさんごきげよう、吹奏楽部です。私たちは昨年の夏に行われたコンクール中部大会において銀賞という成績をおさめました。そこから数々の行事に出演させていただ

吹奏楽部 部長
38 HR (六甲中出身)
木下 美羽

みなさんごきげよう、吹奏楽部です。私たちは昨年の夏に行われたコンクール中部大会において銀賞という成績をおさめました。そこから数々の行事に出演させていただ

選した人数が前々回より少なくなつてしまいました。今年度は、新型コロナウィルスのこともあり、展覧会自体あるかわかりませんが、より多くの部員が入選できるように、部員一人ひとりが真剣に部活動に取り組む、「完成された絵」を目指して、日々活動に取り組んでいきます。

歴史研究会 部長
37 HR (藤枝中出身)
旭 那夏

前年度の歴史研究会は「外に出掛ける」ことを中心に活動し、夏休みに

前年度の歴史研究会は「外に出掛ける」ことを中心に活動し、夏休みに

前年度の歴史研究会は「外に出掛ける」ことを中心に活動し、夏休みに

科学部 部長
38 HR (大洲中出身)
増田 大飛

科学部では、毎年秋に開催されている「科学の甲子園」に出場しています。「科学の甲子園」は6人1チームで自然科学系6科目の問題を解く大会です。

この大会で私たちは60チーム中19位という成績を収めることができました。しかし、目標である全国大会出場を果たすことができなかったため、日々の勉強と部活動を真剣に取り組んでいきます。

書道部 部長
310 HR (明誠中出身)
増田 有花

書道部は日々練習を重ね、自分の技術を向上させることで、自分の納得いく作品を創りあげることが目標にしています。

普段は、展覧会へより良い作品を出展できるように部員が互いに切磋琢磨して練習に励んでいます。また、多くの人に書道の楽しさを知ってもらおう機

会の一つとして、文化祭での活動を大切に行っています。前年度では、特に書道パフォーマンスに力を入れ、とても力強い作品を創りあげることができました。今年度は教室展示を充実させ、書道にふれる機会を作りたいと思います。

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵

私たちは射撃同好会は前

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵

年度、広島全国大会や東海大会など多くの大会に参加してきました。そして様々な大会や活動を振り返って反省すべきと感じた点は、この競技で最も大切な体を固定し続けるということができていない時があったことです。そこで今年度はトレーニングメニューを増やすことで各自の長所を伸ばすと同時に短所を無くしていき、次の国体に出場することを目標にします。

女子バレー同好会 部長
39 HR (青島中出身)
草賀 翔子

私たちは昨年度の1年間でいくつかの大会に出場しましたが、どの大会でも思うような結果を残すことができませんでした。試合の中での一番の反省点は、レシーブミスが多かったことです。つなぐことが大切なこの競技においてレシーブミスが続いてしまうことは致命的なので、今年度はレシーブ力の向上を目標に、日々の活動に取り組んでいきたいと思っています。

フットサル同好会 部長
37 HR (島田第二中出身)
内野 拓実

私たちはフットサル同好会では前年度、週に2回、試合形式で行っていました。また、前年度の目標は「あいさつ」を重視してきました。今年度の目標も前年度と同じく、「あいさつ」を目標にしたいと思います。

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵

射撃同好会 部長
37 HR (大富中出身)
飯塚 陽葵